

総胆管結石

川口市立医療センター

消化器内科 おのえ 尾上 まさひこ 雅彦



みぞおちから右上腹部にかけた痛みやコーラ色の尿が出ることはありませんか？肝臓内を木の枝のように走行する胆管は徐々に集合し、1本の幹、総胆管になります。肝臓で作られた消化液の胆汁は総胆管を流れ、最終的に十二指腸に排出されます。胆汁は、総胆管の真ん中あたりにある胆嚢のうに一部蓄えられますが、貯留する間に、コレステロールやカルシウムを軸にして石ができることがあります。これが胆嚢結石(胆石)です。胆石自体は、がんなどの悪性疾患ではなく良性疾患なので、炎症や痛みがなければすぐには治療対象になりませんが、胆嚢の首根っこ・胆嚢から総胆管につながる管の中・総胆管の出口(十二指腸乳頭)などにひっかかり閉塞すると胆汁の流れがせき止められ、その手前の胆嚢・総胆管が拡張し痛みが出てきます。また、胆汁が十二指腸に排出されず胆汁成分が血管内へ流れ、体が胆汁色おうだん(黄疸)になり、白目が黄色くなったり、尿がコーラ色になったりします。たまった胆汁は感染しやすく、総胆管内に膿がたまる胆管炎になります。胆管炎→菌血症→敗血症ショックとなり、死に至る場合もあります。胆石が胆嚢内にある間は、放っておいてもよいのですが、総胆管結石となった場合は命にかかわる疾患なので、緊急処置の対象となります。胆嚢内の結石は、内視鏡(胃カメラ)で採ることができませんが、総胆管結石は内視鏡で採ることができます。具体的には、十二指腸乳頭をレーザーメスで切開し、出口を広げ、金属製の網で掴んで引っ張り出したり、割ったり、先に風船の付いた管で引っ張り出したりして採ります。症状がある場合は最寄りの医療機関を受診し、総胆管結石のチェックをしましょう。